

# なりわい再建支援補助金の活用事例 株式会社 源（富山県富山市）

<補助金活用のポイント> アンテナ高く情報収集し、相談窓口を積極活用して解決



店舗外観



富山名産ますのすし



ますのすしミュージアム売店



被災した食事処



修繕後

## 会社概要

- 住所 富山県富山市南央町37-6
- 連絡先 076-429-3322
- 代表 四谷 英久
- 事業内容 ますのすしを中心とする各種駅弁等の製造販売、及びますのすしミュージアムの運営並びに外食事業を展開。
- 自社のPRポイント  
明治45年に富山名産「ますのすし」を販売以来、その名を全国に普及させ、富山の新しい食文化を創造し続けています。

## 被災時及び復旧後の状況

- 能登半島地震により、店舗や生産設備に影響はありませんでしたが、ますのすしミュージアム（食事処）や工場内のガラスの破損、給水管の損傷等の被害が生じました。ただし1月3日の朝には仮復旧して営業を再開しました。
- 本格的な復旧にあたり、補助金を活用しました。
- その他、物流停止による商品や原材料のロスや観光客の減少による間接被害も大きな打撃となりました。

## なりわい再建支援補助金を活用した経緯

- 能登半島地震の復旧に活用できる補助金はないか？と情報収集を行っていた際に、なりわい再建支援補助金を知りました。そこで富山県の「被災事業者復旧等支援窓口」に電話相談を行い、補助金説明会にも参加しました。
- 証憑書類の種類が多かったほか（初めての公募開始直後だったため）様式の変更等もあり、申請書類の準備には大変苦労しましたが、対面相談を活用し、不明点や疑問点を一つ一つ解決しながら申請に至ることができました。

## 事業者からのメッセージ

- なりわい再建支援補助金を活用させていただくことで、営業活動の復旧に前向きに取り組み、迅速に対応することができました。
- 当初は様々な不安がありました。同じように不安を抱える方々に対し、経験やノウハウを伝える協力もできればと考えております。
- 今後も震災復興に貢献していきます。

